

## 台風対策のチェックリスト

### 露地果樹（落葉果樹（キウイフルーツ含む））

#### 【事前対策】

内容	チェック欄	備考
園の造成、植栽に当たっては風当たりの強い場所は避ける。		
防風設備の整備を行う。		防風林や防風ネットを設置する。
棚栽培や低樹高栽培を導入する。		強風を避けるための栽培手法を導入する。
枝折れ及び倒伏防止策を行う。		幼木では支柱を立て、高接ぎ樹では欠落がないように結束する。
結束、誘引等を点検する。		棚仕立て栽培等では結束不十分なものを見直す。

#### 【直前対策】

内容	チェック欄	備考
棚のあおり止めを行う。		強風による棚の波打ち（バウンド）現象を軽減するためあおり止めを行う。
平棚園開口部を閉鎖する。		出入り口からの強風は棚面を吹き上げるように揺らすので、開口部の閉鎖を行う。
収穫期果実を一斉収穫する。		収穫期に入っている果実は事前の一斉収穫し、販売まで冷蔵貯蔵する。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。

## 台風対策のチェックリスト

### 【事後対策】

内容	チェック欄	備考
(キウイフルーツ) 早期落葉した園では袋がけや寒冷紗等による被覆を行う。		果実表面温度の上昇による空洞果、日焼け果の発生を防ぐ。
(キウイフルーツ) 落葉の著しい樹については、生傷果、奇形果、小玉果、病虫害被害果等を早めに摘果する。		樹勢回復及び翌年の着果数確保のために行う。
(キウイフルーツ) 落葉後再発芽した新梢は摘芯する。		弱い新梢で4～5枚、強めの新梢では7～8枚で摘芯する。
(キウイフルーツ) 収穫時には果汁分析を必ず行う。		落葉した場合は果実糖度が低下するため。
(ナシ・カキ) 落葉が多い場合は、残葉数に見合った果実数(葉果比)になるように摘果する。		ナシの葉果比 : 40枚前後 カキの葉果比 : 30枚前後
(カキ) カキは落葉すると着色は早まるが、糖度が低下するので販売に注意する。		果実品質を確認した後販売する。
(ナシ・カキ)【塩害】 極端な葉の損傷が起きた場合は、樹体衰弱を防ぐために花器は摘み取る。		8月～9月までは開花が起きる。
(ナシ・カキ)【塩害】 新梢が発生したら緑化に努める。		葉面散布剤を散布する。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。